

●降誕節第一主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第四十六編」

万軍の主は

わたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。



## 喜びを見つけた旅

クリスマス当日に羊飼いたちが幼子イエスを訪れてからどれほどの時間が経ったでしょうか。突然、東の国から博士たちが訪れ、「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか」と尋ねました。更に「私たちはその方の星を見たので来た」とも言いました。イスラエルの民にとつてどれも初耳でした。博士たちの誰もが知っているかのように質問するその言葉に、エルサレムの人々は不安を感じ、当時のユダヤの王であるヘロデもまた不安を抱いたのです。

ヘロデは民の祭司長たちや律法学者たちを集めて、「聖書にメシアはどこに生まれることになっているのか」と問いたたしました。追い詰められた祭司長らから「ユダヤのベツレヘムです」と答えを得たヘロデ王は、博士たちを密かに呼び寄せ、彼らから星の現れた時期を確かめた後、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。私も挨拶にいきたい」と言い、彼らをベツレヘムへ送り出したのです。しかし、ヘロデは生まれた幼子の居場所が分かれば、自分の王位の脅威となるその幼子を殺すつもりでした。それを知る由もない博士たちは「ベツレヘム」という聖書からの答えを聞き、出発したのです。しかし、見知らぬ地での外国人の博士たちの旅は、ベツレヘムへの道をたどり、星が現れた時期に生まれた幼子と、そこで捜しあてなければならぬのです。夜の道を進む彼らの様子は漠然とした自分たちの状況を表しているかのようです。

神は全世界の中からこの博士たちに目を留められ、幼子イエスの星を示し、ユダヤ人の王の誕生を知らせてくださいました。その星を見て遠い東の国から旅してきた彼らは、自国に帰ることなくベツレヘムへと向かいました。彼らのために、神は、今度はその星を動かしてくださいました。想像してみてください。星が自分たちのために、ある意志をもって、道を示しているのです。出発したものの、その道のは漠然としたもの。しかしその時、星が動き始めたのです。博士たちは喜びに喜び、大いに喜びました。天地を造られた方、天の星を造られた方が、イエスの星をそこに置き、更に彼らを道案内するために星を動

かしておられる。全世界にかつてないことが、この博士たちのために起こされていたのです。

彼らは星に導かれるままに旅をし、その星が止まった家に入ると、本当に星が現れた時期に生まれた幼子とそこにいたのでした。マリアと一緒にいる幼子イエス、その新しい王にお会いし、その前にひれ伏して、黄金、乳香、没薬を献げたのです。

約2000年前、博士たちのために驚くべき出来事が起こりました。神は天にある星を動かされました。その驚異の出来事が指差しているのは「クリスマス」です。主イエスの誕生です。神は天体を動かすこととは比べものにならないほどの大きなことを人のためになされたのです。

星を見つけて喜び、動かされる星を見て大いに喜び、ベツレヘムに来て幼子イエスに出会い、更に喜んだ博士たち。天の神こそ、純真に喜ぶ博士たちを見て、なお厳かにお生まれになったイエスにひれ伏す彼らをご覧になって、喜ばれたのではないのでしょうか。何よりも、神は御子を与えられることを喜ばれたのではないのでしょうか。

やがてこの幼子イエスは人の罪を償うためのささげ物として死ぬのです。空の星、天地を動かされることによつては、人から救うことはできません。御子イエスによつて人が死ぬ者ではなく、生きる者となることを喜ばれる。そのために天地を動かされる以上のことを、このクリスマスになされたのです。

博士たちはエルサレムに来て「ユダヤ人の王はどこにおられますか」と尋ねました。神の民とされた「ユダヤ人」はこの王に会うことができずして、外国人の博士たちは「主イエスの星」に導かれ、主イエスに出会ったのです。この王はもはやユダヤ人の王だけではなく、遠い国の人々をも導く星、光、王です。日本にいる私たちにも救いの希望が示されました。喜びに喜ぶ博士たちと共に喜び、その喜びを見て喜ばれる天の父への限りない賛美と感謝をささげたいものです。

(マタイ二・一〜一二 黄 允湜 牧師)

2024年度

## 教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

### 《今日のお知らせ》

○今日は年末礼拝です。

○一月二日(木)一〇時三〇分から聖書通読会を行います。今回はヤコブの手紙を読みます。場所は地下ホールです。

### 《ぶどうの会より》

本日、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

### 《ルツの会より》

礼拝終了後一五分後、公開ルツの会をカナンルームで行います。出エジプト記一三〜一四章を学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

### 《運営委員会より》

○教員懇談会を次のとおり開催します。よろしくご参集ください。

・日時 一月二日(日) 一三時開始(目途)一時間程度  
二十歳を迎えた方を祝う交わりの会の後、昼食休憩を挟んでから開始予定です。

・場所 地下ホール

・概要 今年四月に設置された検証委員会(山名書記、館山役員で構成)からの報告をお聞きします。続く一月二六日(日)の教会研修会に向けた心備えの時としたいと思います。

### 《教会事務所より》

一月六日(月)まで、冬季休業いたします。(二月六日は附属幼稚園の預り保育のみ有)。期間中は、礼拝、通読会の日を除き教会施設内に入ることができませんので、お忘れ物などごいませんよう、ご注意ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字を唱和します。

【詩篇四十六篇】

指揮者に合わせて。コラの子の詩。アラモト調。歌

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。

苦難のとき、必ずそこにいます  
助けてくださる。

わたしたちは決して恐れない

地が姿を変え

山々が揺らいで海の中に移るとも

海の水が騒ぎ、沸き返り

その高ぶるさまに山々が震えるとも。

大河とその流れは、神の都に喜びを与える

いと高き神のいます聖所に。

神はその中にいますし、都は揺らぐことがない。

夜明けとともに、神は助けをお与えになる。

すべての民は騒ぎ、国々は揺らぐ。

神が御声を出されると、地は溶け去る。

万軍の主はわたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

主の成し遂げられることを仰ぎ見よう。

主はこの地を圧倒される。

地の果てまで、戦いを断ち

弓を砕き、槍を折り、盾を焼き払われる。

「力を捨てよ、知れ

わたしは神。

国々にあがめられ、この地であがめられる。」

万軍の主はわたしたちと共にいます。

ヤコブの神はわたしたちの砦の塔。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「救い主を待ち望んでいたシメオン」

聖書 ルカ2章22〜32節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

新年礼拝

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神の業が現れるため」

聖書 ヨハネ9章1〜12節

説教者 吉村和雄 名譽牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 110番 1175番

説教 「幼子の心を目指す」

聖書 ルカ18章15〜17節

説教者 黄允湜 牧師





## 年末礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 114番 239番  
説教 「救い主を追いやる世界」  
聖書 マタイ2章13～23節(新約 P.2)  
司式 山下 純一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「神をたたえよ、我らキリスト者こそぞりて」  
J.S.バッハ

### ○讃美歌114番

1. 天なる神には みさかえあれ  
地に住む人には 安きあれと  
み使いこそぞりて ほむる歌は  
静かにふけゆく 夜にひびけり
2. 今なおみつかい つばさをのべ  
疲れしこの世を おおい守り  
かなしむ都に なやむ鄙に  
慰めあたうる 歌をうたう
3. 重荷を負いつつ 世の旅路に  
悩めるひとびと かしらをあげ  
栄あるこの日を たたえうたう  
たのしきうた声 ききていこえ
4. み使のうたう やすききたり  
ひさしく聖徒の 待ちしくにに  
主イエスを平和の 君とあがめ  
あまねく世の民 たかく歌わん  
アーメン

### ○讃美歌239番

1. さまよう人々 たちかえりて  
あめなる御国の 父を見よや  
罪とがくやめる ころそこそは  
父より与うる たまものなれ
2. さまよう人々 たちかえりて  
父なるみかみの みまえにゆき  
まことの悔をば いいあらわせ  
世人は知らねど 知りたまえり
3. さまよう人々 たちかえりて  
主イエスの御許に とくひれふせ  
わが主は憐れみ み手をのべて  
こぼるる涙を 拭いたまわん
4. さまよう人々 たちかえりて  
十字架の上なる イエスをみよや  
血しおの滴る み手をひろげ  
生命をうけよと まねきたもう  
アーメン

聖餐曲「古き年は過ぎ去り」 J.S.バッハ

後奏曲「もろびと声上げ」 Z.ガルドーニ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。